

地域ICT利活用モデル構築事業 実証実験のご案内

ユビキタス てぶら 観光

南京町

北野工房のまち

さんちか

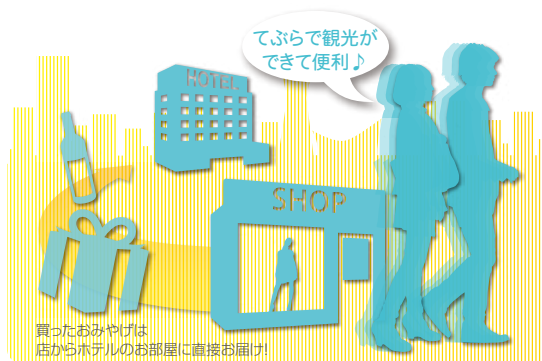
“ユビキタステぶら観光”は、ホテル^(※1)に宿泊いただくお客様を対象に、南京町・北野工房のまち・さんちか^(※2)にてお買い物いただいた際、てぶらで快適な観光を楽しんでいただくためのユビキタス応用サービスの実証実験です。

配送先情報や配送状況などucodeを介すことで、ホテルの住所を覚える必要がなく、個人情報などプライバシーを確保し、細かい配送条件を指定することができます。

(※1) 神戸東急インに宿泊いただく方のみが対象となります。

(※2) 実験参加協力店舗のみ(別紙記載)が対象となります。

実施期間：2009年2月13日(金)～2月26日(木)



お問い合わせ先

神戸観光等情報化推進協議会事務局

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1神戸市役所1号館11階 神戸市企画調整局情報化推進部

TEL：078-322-5042 / FAX：078-322-6199 E-Mail：johoka@office.city.kobe.jp

地域ICT利活用モデル構築事業^(※3) 実証実験

神戸市、ユビキタス空間基盤推進協議会

(※3) 地域ICT利活用モデル構築事業は、ICT(情報通信技術)の利活用を通じて地域が抱える課題を解決するためのモデル的取組を、総務省が市区町村等に委託して実施する事業です。神戸市では、平成19年度から本事業を受託し、地域の関係団体と共に設立した「神戸観光等情報化推進協議会」で協議を行いながら、観光交流のまちづくりの促進とユニバーサル社会につながる生活支援の充実をめざし取り組んでいます。